

小学生の絵はがきコンクール



亀山市立亀山南小学校 5年 中村 心海

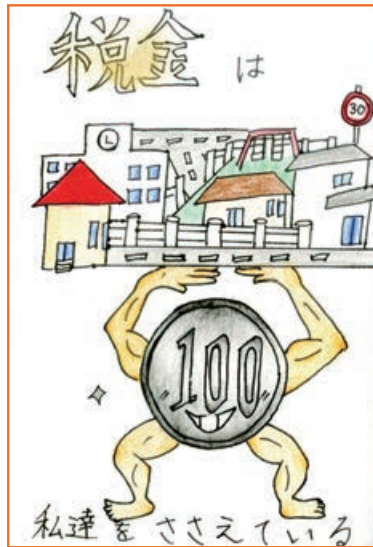
金賞



鈴鹿市立鈴西小学校 6年 加藤 天夢



亀山市立亀山西小学校 4年 麻生 悠真



鈴鹿市立稲生小学校 6年 伊藤 ひより



亀山市立亀山東小学校 6年 櫻井 穂香

銅賞



鈴鹿市立国府小学校 6年 松原 芽生



鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校 6年 川崎 美海



亀山市立井田川小学校 4年 原口 直緒



亀山市立亀山東小学校 5年 櫻井 花菜美



亀山市立亀山東小学校 6年 上谷 峻人



亀山市立亀山南小学校 5年 石井 心音

回覧

すずか税のたより

第135号
令和3年11月発行

主催及び発行者
鈴鹿納税貯蓄組合連合会 Tel.059-371-0711 (鈴峰企業(株)内)
協賛
鈴鹿税務連絡協議会

令和3年度 応募状況
作文
416編
習字
1,959点
絵はがき
1,151点
標語
3,478点



亀山市立川崎小学校 6年 西村 桃奈

鈴鹿税務署長賞

小学生の絵はがきコンクール

小学生の税に関する習字

中学生の税の標語

納税は 豊かな未来を 開くかぎ

鈴鹿税務署長賞

鈴鹿市立白子中学校 1年 岡山 彩美夢

井田川小六年 東尾真依

生税生活と

三重県教育委員会賞

亀山市立井田川小学校 6年 東尾 真依

稲生小五年 宮田陽葵

生税生活と

鈴鹿税務署長賞

鈴鹿市立稲生小学校 5年 宮田 陽葵

募集者【習字・作文】鈴鹿納税貯蓄組合連合会
 【絵はがき】公益社団法人鈴鹿法人会
 【標語】鈴鹿間税会

中学生の 税についての作文

三重県教育委員会賞

今だからこそわかること

亀山市立亀山中学校 3年 平尾 のあ

令和2年3月、この世が一変しました。日本中に新型コロナウイルスが流行し始めたのです。

少しして、約3ヶ月間の休校が続きました。この初めての状況で、私は税金の大切さに気づいた出来事がありました。

長い休校期間に入り、家でニュースを見る機会が増えました。ニュースでは、新型コロナウイルスにより、いろいろな県に緊急事態宣言が出され、お店にお客さんが来ず、凄く困っている人がたくさんいました。他にもニュースを見てみると、マスクがなくて、マスクをせずに外に出ると、色んな人から見られたり暴言を吐かれたり、怒鳴られたりするニュースを見て、世の中がピリピリしている日々が続いていることがわかりました。

そこで、全世帯にマスクが配布され、みんなは安心した表情をうかべていました。私は考えました。このお金は誰が出しているのだろうと。ようやくこの時、税金で世の中は成り立っているということがわかりました。最近、消費税が8パーセントから10パーセントに上がり、消費税をなくそうという人がいる。私も正直そう思っていました。

でも、今となってはとても大切だと思います。なぜなら、新型コロナウイルスの影響でさまざまな支援にお金が必要だと思うからです。

新型コロナウイルス以外にも日本は地震が多く、東日本大震災などでも、崩れた建物や被害を受けた人への支え、そして、10年たった今でもこうして、施設を建てる支えなど様々な形で税金に助けられていると思います。

もし、税金という仕組みがなくなってしまったら、病院や私たちがいつも使っている学校など色々な場所での費用が個人の負担になってしまうし、働きたくても働けない人や病気の人が困る事がたくさんあると思います。

それに、今後何が起こるかわかりません。そのような状況で、困難を乗り越えるためにも一人一人が安定した税収入を築いていかなければなりません。

私に出来ることは、日本国民の一人として税金を納めて行くことです。また、少子高齢化だからこそ年老いた人が安心して暮らせるためにも税金は必ず必要だと思います。大人になっても税を大切に、誰かの役に立っている大切なつながりだと考えていきたいです。

このように、今回の新型コロナウイルスの影響で税金の必要性がわかりました。そして真剣に考える機会が持てたことは、すごく大きな経験になりました。考えさせてくれたおかげで、私は大きく成長できたと思います。

三重県教育委員会賞

税に助けられて生きていく

亀山市立中部中学校 3年 小川 実桜

まだ15歳の私だけれど、これでも立派な納税者です。おしゃれな文房具やおいしいスイーツをお小遣いで買う時もお小遣いからきちんと消費税を支払っています。

私達が暮らす社会には、他にもたくさんの種類の税があります。例えば、個人の所得に対してかかる所得税、ガソリンにかかる揮発油税、土地や家屋・事業に使う機械などを所有している人に毎年かかる固定資産税など、あらゆるものに税金が課せられています。

こうして私達が納めた税金は、身近なところで使われていて、その中でも一番多く使われているのは「社会保障」にかかるもので、私達が安心して生活していくために必要な「医療」「年金」「介護」「福祉」などの公的サービスです。

一昨年、ボランティアで訪れた老人福祉施設で、3日間のショートステイを利用されたおばあちゃんを迎えにきた家族の方から帰り際に、「本当にお世話になりました。もうね限界でね。何もかも投げ出してやろうと思ってたの。でも、久しぶりにゆっくりお風呂に入って、ゆっくり眠れた。茶刈も無事終わったし。職員さんにいっぱい悩みを話せたり、相談にもってもらって。これで、明日からまたおばあちゃんと一緒に頑張れそう。本当にありがとね。」と、声をかけられました。

私は、おばあちゃんだけではなく、その家族から、より感謝されたことに少し驚きました。そして、そんな私に施設の方が、「今回のご利用は、介護する側が倒れてしまわないよう、高齢者の方をお預かりして、一旦休息を取ってもらおう為の「レスパイトケア」も目的の一つだったんだよ」と教えてくれました。

近年、積み重なる介護への負担によって家族に精神的な余裕がなくなって外部との接触を拒んだり、離職したり、更にうつ病などの精神疾患に罹ってしまうケースが目立つようになってきているそうです。介護する側の人がこのようになった場合、その人へのケアも必要となるばかりか、介護を受けていた高齢者の生活もままらなくなり、負のスパイラルに陥ってしまいます。家族介護の難しさが社会問題となりつつある今だからこそ、「レスパイトケア」というものはより重要なものになっていくのだそうです。

そして、このような時、家族の負担を軽減させるのは介護保険制度です。介護保険制度とは、介護が必要な人にその費用の一部を給付する制度です。その「社会保障」の財源は、40歳以上の人から集められた介護保険料と国や県、市町村からの税金で賄われます。

税金に対しては、「負担」というイメージを抱いてしまいがちですが、自分が納めた税金が誰かの助けとなり、誰かが納めた税金に、今、私達は助けられて生きています。常にその意識を持ちながら、将来、社会の一員として、もっと貢献できる人に私はなりたいと思います。

小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿税務推進協議会長賞
鈴鹿市立若松小学校
6年 山口 世菜



鈴鹿税務連絡協議会長賞
鈴鹿市立国府小学校
5年 藤田 美代子



公益社団法人 鈴鹿法人会女性部会長賞
亀山市立井田川小学校
4年 富永 蒼介



公益社団法人 鈴鹿法人会会長賞
鈴鹿市立福生小学校
6年 南部 暖乃

中学生の 税についての作文入選者

(敬称略)

三重県教育委員会賞	亀山市立亀山中学校 3年 平尾 のあ	鈴鹿納税貯蓄組合連合会	金賞	亀山市立亀山中学校 3年 近藤 立都
三重県教育委員会賞	亀山市立中部中学校 3年 小川 実桜			亀山市立中部中学校 3年 國崎 心夏
鈴鹿税務署長賞	亀山市立中部中学校 3年 中西 圭佑			亀山市立関中学校 2年 杉野 嘉音
鈴鹿税務推進協議会長賞	鈴鹿市立天栄中学校 3年 平田 りの		銀賞	鈴鹿市立創徳中学校 2年 田中 凜美
鈴鹿税務連絡協議会長賞	鈴鹿市立天栄中学校 3年 赤井 美咲希			亀山市立中部中学校 3年 堂前 心月
鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞	鈴鹿市立白子中学校 3年 中西 琉楽			亀山市立中部中学校 3年 南牟礼 健心
			銅賞	鈴鹿市立天栄中学校 3年 松浦 順正
				鈴鹿市立天栄中学校 3年 宮崎 颯河
				亀山市立中部中学校 3年 安藤 優衣
				亀山市立中部中学校 3年 西村 璃音

中学生の税の標語

税金は 国民みんなの 愛情貯金

亀山市立関中学校 1年 大澤 孝太郎

鈴鹿税務推進協議会長賞

税金で みらいにつなぐ 笑顔の輪

鈴鹿市立平田野中学校 1年 押川 優音

鈴鹿税務連絡協議会長賞

税金は 誰でもできる 助け合い

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 馬場 みゆな

三重県間税会連合会長賞

納税は 明るい未来の 架け橋に

鈴鹿市立創徳中学校 1年 岡屋 佑希斗

鈴鹿間税会長賞

金賞

納税で 未来に笑顔 届けよう

鈴鹿市立平田野中学校 1年 川合 里奈

納税で みんなの未来 ぼくの未来

鈴鹿市立平田野中学校 1年 古川 駿

税金で 笑顔の花を さかせよう

鈴鹿市立神戸中学校 1年 三輪 柚葵

納税で 笑顔あふれる 未来へ

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 上妻 周真

みんなだね 使って納める 消費税

鈴鹿市立平田野中学校 1年 佐藤 伶音

銀賞

銅賞

育てよう 未来の国を 税金で

鈴鹿市立白子中学校 1年 由本 梨心

つなげよう 豊かな暮らしを 納税で

鈴鹿市立神戸中学校 1年 堤 笑

納税は みんなの理想 つくる道

亀山市立亀山中学校 1年 原 慈

あなたの税 知らない所で 役にたつ

鈴鹿市立大木中学校 1年 中川 琴葉

すみやかに すーと納めて かくじつに

鈴鹿市立白子中学校 1年 國府田 朱音

納税は めぐりめぐって 自分のために

亀山市立中部中学校 1年 沼波 眺菜

鈴鹿税務署長賞

税金を納める意味を考える

亀山市立中部中学校 3年 中西 圭佑

「消費税の税率アップ反対。」などのように税金は「納める」というより「取られる」と思う人が多い。それを不思議に思い、税金について考えてみた。

国民の三大義務は「教育の義務」「勤労の義務」「納税の義務」だ。ぼくは「たくさん勉強して、たくさんお金を稼いで、たくさん税金を納めるということか。なんか嫌だな。」と思った。しかし、税金の使い道を知ると、今までそれが自然と思うこと全て、税金がないと出来ないことを知った。

最近、一番華やかな税金の使い道だと思ったのがオリンピックだ。反対する人も多かったようだが、ぼくは毎日楽しかった。ぼくは陸上部だから、特に陸上競技が楽しかった。立派なオリンピックスタジアムは、本当にすごくてびっくりした。あんな所で走れたら気持ちいいだろうと毎日ワクワクしていた。あんな立派な大会が開けるなんて、日本という国は本当にすごい国なんだと、誇らしい気持ちになった。コロナ禍の今だからこそ、あのような行事をやって良かったと思っている。

もちろん、子供のぼくにはわからないような問題もたくさんあるだろう。しかし調べてみるとやはりオリンピックはやって良かったと思うことが多かった。例えば、「都市鉱山からつくる、みんなのメダルプロジェクト」のように、選手のメダルは都市鉱山から作るという、リサイクルシステムが発案され実行された。資源の少ない日本では、新たな資源を見つけることは難しい。しかし、リサイクルの習慣が定着すればモノ作りの技術はあるのだから最強だ。広くリサイクルの知識が広がったのも、オリンピックのおかげだ。さらに、オリンピックを見て身体を動かしたくなった人も多いと聞いた。メタボ体質が改善されたら、日本の平均寿命、健康寿命も伸びるだろう。パラリンピックも今見ているが、障がい者に対して偏見が減った気がする。今まで障がい者の人にかわいそうと思っていたけど、とにかくカッコいい。今すぐみんなが良かったとは思えないかもしれないけど、きっといつか良かったと思えるだろう。

いつかぼくも働くようになったら、税金を納める日が来る。税金はぼく達の豊かな生活を当たり前にするために納めることがわかったので、喜んで納めようと思う。そして、オリンピックのような、未来への投資になるような行事をまた見てみたい。

税を納めたくないと思う人は、どのように税金が使われているか、きちんと学び、理解しなくてはならない。ぼくも常にそれを勉強し、理解し、さらに無駄使いがないかチェックできるようになりたい。

鈴鹿税務推進協議会長賞

身近な税金

鈴鹿市立天栄中学校 3年 平田 りの

私の家族は少し特殊です。理由は「妹が里子である」ということです。もう一つ、直接的な関係はないけど「妹が障害を持っていること」も他の家族と違うと思います。さらに言うと妹が里子だから税金もとても身近なものと感じています。妹が元気に成長できたのは税金のおかげだと思います。

実は里親には「里親手当」というものが払われます。そもそも里親というのは血のつながっていない子を親変わりとなって育てるので当たり前といえば当たり前です。が家はそのおかげで助かっています。里親手当では毎月県から一万円程度で払われます。でももともとは皆さんが払ってくれた様々な税金のおかげなんです。税金のおかげで妹は生活できていると言っても過言ではありません。家では毎月来る里親手当を妹の習い事にまわしています。なので妹は興味のあることなどを好きな分だけやっています。

もう一つ、私に身近な税金があります。それは、「障がい者年金」です。これは妹にはあまり関係がありません。なぜなら障がい者年金の対象は「20歳以上60歳未満の重度の障がいを持っている人」だからです。その点、妹は軽度の発達障がいです。5歳なのでたとえ20歳になっても障がい者年金の対象にはあてはまりません。そしてこの障がい者年金はもともと税金と20歳になったら払う年金からできています。そして県から支援金としてきます。身体が思うように動かさず働きたくても働けない人や「障害を持っている」ということだけで仕事もらえない人にとって大きな助けになっていると思います。税金は障がいを持っている人の生活も手助けしているんだなと思いました。

私達に直接関係があるもので「児童手当」というものがあります。これは障がいを持っていても持っていないでも里子でも里子じゃなくてももらえるものです。そして児童手当は申請すると一年に3回、4ヶ月に一回のペースで誰でももらうことができます。私ももらっていてそのおかげで助かっていることも沢山あります。

税金のことを知るまでは「税金って言われたって…」や「何に使われてんのか知らないし、何で払わなくちゃいけないの?」と思っていました。でも税金はいつも私たちのために払っていたんだなと思いました。人を助けるために税金を払うと知ったとき、税金に興味ができました。これから死ぬまで払う税金についてもっと知りたいと思います。

鈴鹿税務連絡協議会長賞

私達を救ってくれた税

鈴鹿市立天栄中学校 3年 赤井 美咲希

今まで私は「税」に「悪いイメージ」を持っていました。ですが、税について学んでいくうちに、税は私達を救ってくれるものだ気がつきました。

私には3歳離れた弟がいます。私が幼稚園に通っていた年齢に、弟はまだ小さい赤ちゃんでした。ある日の朝のことでした。家族全員が朝の支度をしていて忙しい時間帯の時、家族みんながほんの一瞬目を離れた時でした。弟は歩行器で歩いていましたが、玄関の段差から転落してしまったのです。母はそれに気がつき、すぐに救急車を呼びました。幸い、命に別状はありませんでしたが、今現在も検査のために毎年、三重大学病院に通っています。この出来事は、私が税について勉強した時に、思い出しました。

なぜこの出来事を例に出したのかというと、救急車に乗ることも、病院で手当てを受けることも、毎年検査を受けることも、全て、税に助けてもらっているからです。大きい手術でなくても、日常の中でケガをした、かぜをひいてしまった時も、税によって助けられています。弟だけでなく、私も救急車で運ばれ、治療をしてもらった時があります。もし国民医療費の公費負担がなければ、親が多額のお金を払うことになり、そこで払えなかったら私と弟の命に危険がおよんでいたかもしれません。かぜでも同じことが言えます。病院に行って薬をもらっても、お金が高く支払えないとなると、薬ももらえません。そうになってしまうと、熱や症状もどんどん悪化していきます。つまり、「税」というものがなければ、私達の生活は、苦しいものになっていた、ということです。

最初言ったように、私は税に悪いイメージしか持っていませんでした。税金は、「国が国を動かすためのお金」としか思っていませんでした。ですが、よく考えてみると、私達が普段通っている学校も国の税金によって私達が普通に何事もなく通えています。他にも税金のおかげで、私達だけでは不可能なことも可能にすることができます。そう考えると「税」は、今の私達の生活には必要不可欠な物なのではないでしょうか。

なので、私達は「税」に対してもっと感謝すべきだと思います。「私達のために税が使われているんだ」と一人一人が自覚することが大切だと考えます。そうすれば、今の私達の生活がもっとより良いものになると私は思います。

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

嫌いだった税金のおかげで

鈴鹿市立白子中学校 3年 中西 琉楽

私は、税金なんてなくなればいいのにと考えていました。買い物に行っても、何を買うにも消費税を支払わないといけなくて、消費税がなければもっと買い物ができると思ったからです。でも、私は税金に助けられたことが何回かありました。

私の家族は数回救急車で運ばれたことがあります。

一度目は、弟がクループという病気で息が出来なくなり、救急車を呼びました。救急車が家について、救急隊員の方たちが「大丈夫ですか？」と声をかけてくれたとき、涙が出るほどホッとしたと母が言っていました。

二度目は私が学校から帰ってくると、母がめまいで動けなくなっていました。少しでも動く嘔吐してしまい、とても大変な状態でした。母が「タスケテ…キュウキュウシャヨンデ…」と言うので私が 119 番に電話をかけて救急車を呼びました。救急車が家に来てくれるまでの時間は、本当は短い時間だったけど、とても長く感じました。救急隊員の方たちが到着すると、とても安心したのを覚えています。

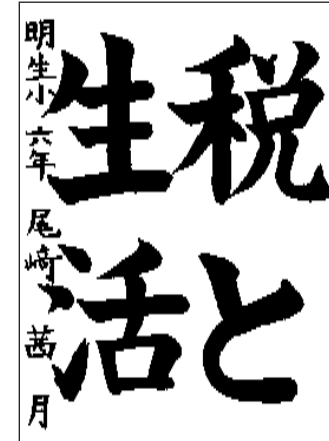
改めて考えたことはなかったけど、救急車は税金で運営されています。アメリカは救急車に税金が使われていません。必要な人は自分でお金を払って救急車を呼びます。生涯呼ばないかもしれない救急車への税金を払わないので、得なのかもしれません。

でも、もし自分に救急車を呼べるお金がなかったら、本来なら助かるような命も助からないかも知れません。日本は税金が高いけれどその分、国民のことを考えてのことだと思います。

私たちが病気の際の救急車、火災で命が危ない時の消防車、犯罪などの私たちに命の危険があるときの警察車両、私たちの学びのための学校、教科書、私たちが歳をとってからのための年金、私たちの普段の生活を守るため、あまり気にしていないけれど、たくさんのことに、税金が使われています。この税金によってあるものがなくなったら、今の生活は破綻してしまうと思います。

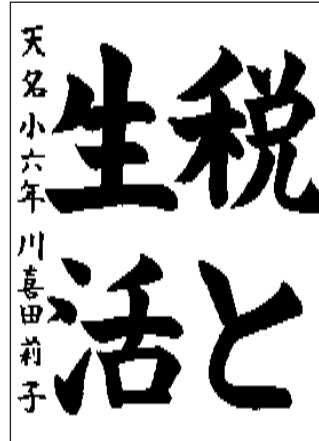
私が大人になっても、自分のためにも税金をきちんと収めて行こうと考えさせられました。

小学生の税に関する習字



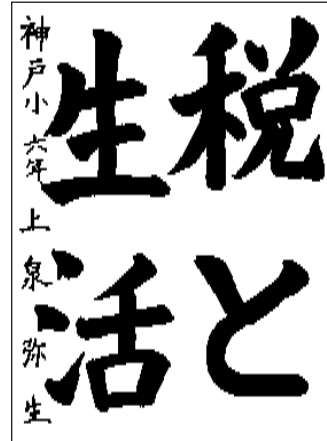
鈴鹿市立明生小学校 6年 尾崎 茜月

鈴鹿税務推進協議会長賞



鈴鹿市立天名小学校 6年 川喜田 莉子

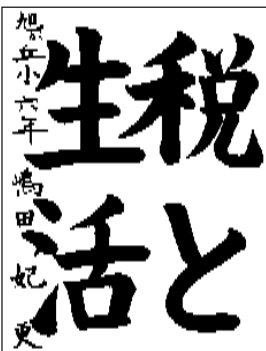
鈴鹿税務連絡協議会長賞



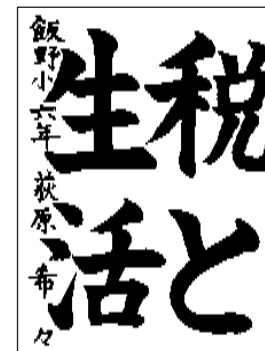
鈴鹿市立神戸小学校 6年 上泉 弥生

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

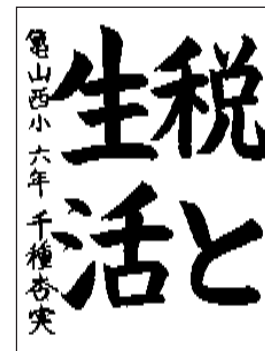
金賞



鈴鹿市立旭が丘小学校 6年 嶋田 妃更



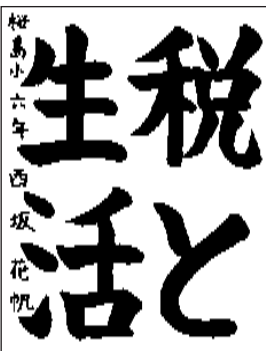
鈴鹿市立飯野小学校 6年 荻原 希々



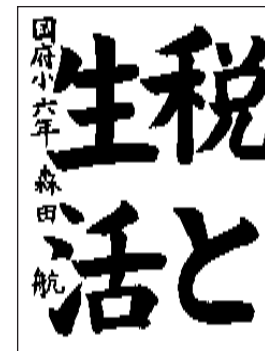
亀山市立亀山西小学校 6年 千種 杏実



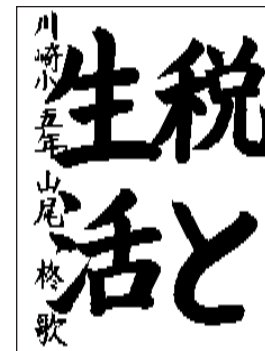
銀賞



鈴鹿市立桜島小学校 6年 西坂 花帆

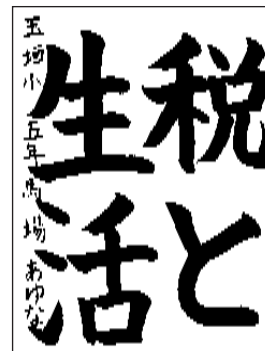


鈴鹿市立国府小学校 6年 森田 航

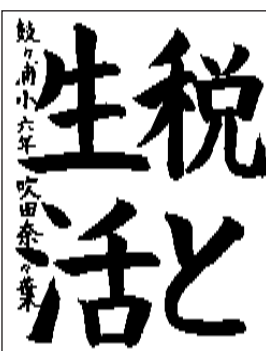


亀山市立川崎小学校 5年 山尾 柊歌

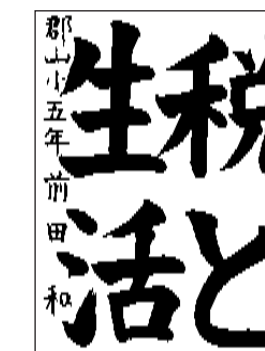
銅賞



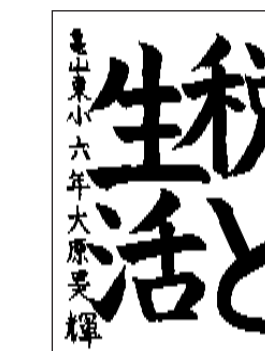
鈴鹿市立玉垣小学校 5年 馬場 あゆな



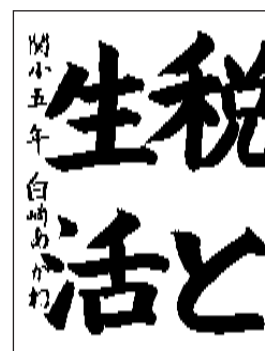
鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校 6年 吹田 奈々葉



鈴鹿市立郡山小学校 5年 前田 和



亀山市立亀山東小学校 6年 大原 昊輝



亀山市立関小学校 5年 白崎 あかね